

製品安全データシート

作成日：2013 年 12 月 27 日
改訂日：2025 年 10 月 07 日
確認日：2025 年 10 月 07 日

1. 化学品及び会社情報

製品名	HISCL SP-A 試薬
[構成品名]	[HISCL SP-A R1 試薬、HISCL SP-A R2 試薬、HISCL SP-A R3 試薬]
供給者の会社名称、住所及び電話番号	シスメックス株式会社 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1 丁目 5 番 1 号 シスメックス株式会社 テクノパーク 〒651 2271 神戸市西区高塚台 4 丁目 4 番地の 4 TEL：(078) 991－1911
緊急連絡電話番号	TEL：(078) 991－1911
推奨用途	臨床検査測定用
使用上の制限	推奨用途以外への使用は禁止する場合は専門家の指示を仰ぐこと

[HISCL SP-A R1 試薬]

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類	区分に該当しない
物理化学的危険性	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分 2A
健康に対する有害性	特定標的臓器毒性（単回ばく露）区分 2（中枢神経系）
環境に対する有害性	水生環境有毒性 短期（急性） 区分 3
GHS ラベル要素	
絵表示	
注意喚起語	警告
危険有害性情報	H319 強い眼刺激 H371 中枢神経系の障害の恐れ H402 水生生物に有害
注意書き	
安全対策	P260 ミスト／蒸気を吸入しないこと P264 取扱い後は手をよく洗うこと。 P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 P273 環境への放出を避けること。
応急措置	P305 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる

保管 廃棄	+P338 場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 P308 ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師に連絡 +P311 すること。 P337 眼の刺激が続く場合、医師の診察、手当てを受ける +P313 こと。 P405 施錠して保管すること。 P501 内容物、容器を国際、国、都道府県又は市町村の規制に従って廃棄すること。
GHS 分類に関係しない又は GHS で扱われない他の有害危険性	アジ化ナトリウムは鉛・銅などの金属と反応して爆発性の化合物を生成する危険性があります。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別
混合物
化学名又は一般名 濃度（範囲）

各成分の化学名	CAS 番号	化 審 法 官 報 公 示 整理番号	安 衛 法 官 報 公 示 整理番号	濃度または濃度 範囲
アジ化ナトリウム	26628-22-8	1-482	既存	≦0.1%
ドデシル硫酸ナトリウム	151-21-3	2-1679	既存	約 1.5%

本品にはアジ化ナトリウムが含まれていますが、法的には毒物として取扱われません。

4. 応急措置

必要な応急処置の説明	
吸入した場合	必要なら医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	接触部位を水と石鹼でよく洗う。かゆみ、炎症等皮膚刺激の症状が生じた場合、速やかに医師の診断を受ける。
眼に入った場合	清浄な流水で、15 分以上洗眼し、直ちに眼科医の診断を受ける。
飲み込んだ場合	水でよく口中を洗浄し、必要なら医師の診断を受ける。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候・症状	情報なし
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	情報なし

5. 火災時の措置

適切な消火剤	水、粉末、泡、炭酸ガス
使ってはならない消火剤	情報なし
火災時の特有の危険有害性	情報なし
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	情報なし

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	保護用眼鏡を着用する。
環境に対する注意事項	環境への放出を避けること。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	少量の場合、ウエス、雑巾等でよくふき取り適切な廃棄容

二次災害の防止策	器に回収する。 情報なし
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い 安全取扱注意事項 衛生対策 保管 安全な保管条件 安全な容器包装材料	正しく測定するために添付文書をお読みください。 情報なし 2～8℃で保管する（凍結禁止） 情報なし
8. ばく露防止及び保護措置	
許容濃度等 日本産業衛生学会 ACGIH 設備対策 保護具 呼吸用保護具 手・皮膚の保護具 眼、顔面の保護具 特別な注意事項	水酸化ナトリウム：【最大許容濃度】 2mg/m ³ 水酸化ナトリウム：TWA -, STEL C 2 mg/m ³ アジ化ナトリウム：TWA -, STEL C 0.11 ppm; TWA -, STEL C 0.29 mg/m ³ 特に必要ない 特に必要ない 保護手袋、保護衣など 保護眼鏡の着用をする。 情報なし
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態 色 臭い 融点／凝固点 沸点又は初溜点及び沸騰範囲 可燃性 爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 引火点 自然発火点 分解温度 pH 動粘性率 溶解度 n-オクタノール／水分配係数（log 値） 蒸気圧 密度及び／又は相対密度 相対ガス密度 粒子特性 その他のデータ(放射性、かさ密度、燃焼持	液体 無色～淡黄色 無臭 データなし データなし データなし データなし データなし データなし データなし データなし 7.4 データなし 水に易溶 データなし データなし 約 1.1 データなし データなし データなし

続性)	
10.安定性及び反応性	
反応性	情報なし
化学的安定性	通常の取扱いで安定。試薬としての安定性は添付文書をお読みください。
危険有害反応可能性	アジ化ナトリウムは鉛・銅などの金属と反応して爆発性の化合物を生成する危険性があります。
避けるべき条件	金属、鉛、銅との長時間の接触
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	情報なし
11. 有害性情報	
急性毒性	
経口	区分に該当しない
経皮	区分に該当しない
吸入	
気体	GHS 定義による気体ではない。
蒸気	区分に該当しない
粉じん、ミスト	区分に該当しない
皮膚腐食性／刺激性	区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	10×(眼区分 1+皮膚区分 1)の成分合計が濃度限界(10%)以上のため、区分 2A に該当。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	区分に該当しない
生殖細胞変異原性	区分に該当しない
発がん性	区分に該当しない
生殖毒性	
生殖毒性	区分に該当しない
生殖毒性・授乳影響	情報なし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	ラウリル硫酸ナトリウム≧1%のため、区分 2(中枢神経系)に該当。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分に該当しない
誤えん有害性	情報なし
その他の情報	情報なし
12. 環境影響情報	
生態毒性	
水生環境有害性、短期(急性)	(毒性乗率×100×区分 1)+(10×区分 2)+区分 3 が濃度限界（25%）以上のため、区分 3 に該当。
水生環境有害性、長期(慢性)	区分に該当しない
残留性・分解性	情報なし
生態蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし

その他の有害性	情報なし
---------	------

13. 廃棄上の注意

化学品（残余廃棄物）当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	
残余廃棄物	水質汚濁防止法等の規制及び各都道府県の条例等に留意して処理してください。
付着している汚染容器及び包装	行政の許可を受けた廃棄物処理業者に委託するか、廃棄物処理法に従って適切に処理してください。

[HISCL SP-A R2 試薬、HISCL SP-A R3 試薬]

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類	
物理化学的危険性	区分に該当しない
健康に対する有害性	区分に該当しない
環境に対する有害性	区分に該当しない
GHS ラベル要素	
絵表示	該当しない
注意喚起語	該当しない
危険有害性情報	該当しない
注意書き	
安全対策	該当しない
応急措置	該当しない
保管	該当しない
廃棄	該当しない
GHS 分類に関係しない又は GHS で扱われない他の有害危険性	アジ化ナトリウムは鉛・銅などの金属と反応して爆発性の化合物を生成する危険性があります。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物				
化学名又は一般名 濃度 (範囲)					
各成分の化学名	CAS 番号	化審法官報公示 整理番号	安衛法官報公示 整理番号	濃度または濃度 範囲	
アジ化ナトリウム	26628-22-8	1-482	既存	≦0.1%	

本品には PRTR 法及び労働安全衛生法の対象物質は含んでいません。本品にはアジ化ナトリウムが含まれていますが、法的には毒物として取扱われません。

4. 応急措置

必要な応急処置の説明	
吸入した場合	必要なら医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	接触部位を水と石鹼でよく洗う。かゆみ、炎症等皮膚刺激の症状が生じた場合、速やかに医師の診断を受ける。
眼に入った場合	清浄な流水で、15 分以上洗眼し、直ちに眼科医の診断を受

飲み込んだ場合	ける。	
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	水でよく口中を洗浄し、必要なら医師の診断を受ける。	
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	情報なし	
5. 火災時の措置		
適切な消火剤	水、粉末、泡、炭酸ガス	
使ってはならない消火剤	情報なし	
火災時の特有の危険有害性	情報なし	
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	情報なし	
6. 漏出時の措置		
人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	水拭き後、消毒用アルコールまたは次亜塩素酸ナトリウム液等で拭き取る。	
環境に対する注意事項	周辺環境に影響がある可能性があるため、製品の環境中への流出を避ける。	
封じ込め及び浄化の方法及び機材	少量の場合、ウエス、雑巾等によくふき取り適切な廃棄容器に回収する。	
二次災害の防止策	情報なし	
7. 取扱い及び保管上の注意		
取扱い		
安全取扱注意事項	情報なし	
衛生対策	情報なし	
保管		
安全な保管条件	2～8℃で保管する（凍結禁止）	
安全な容器包装材料	情報なし	
8. ばく露防止及び保護措置		
許容濃度等		
日本産業衛生学会	情報なし	
ACGIH	情報なし	
設備対策	特に必要ない	
保護具		
呼吸用保護具	特に必要ない	
手・皮膚の保護具	保護手袋、保護衣など	
眼、顔面の保護具	保護眼鏡	
特別な注意事項	情報なし	
9.物理的及び化学的性質		
	[HISCL SP-A R2 試薬]	[HISCL SP-A R3 試薬]
物理状態	懸濁液	液体
色	褐色	無色～淡黄色
臭い	無臭	無臭

融点／凝固点	データなし	データなし
沸点又は初溜点及び沸騰範囲	データなし	データなし
可燃性	データなし	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	データなし	データなし
引火点	データなし	データなし
自然発火点	データなし	データなし
分解温度	データなし	データなし
pH	6.5	6.5
動粘性率	データなし	データなし
溶解度	水に易溶	水に易溶
n-オクタノール／水分配係数（log 値）	データなし	データなし
蒸気圧	データなし	データなし
密度及び／又は相対密度	約 1.0	約 1.0
相対ガス密度	データなし	データなし
粒子特性	データなし	データなし
その他のデータ(放射性、かさ密度、燃焼持続性)	データなし	データなし

10.安定性及び反応性	
反応性	情報なし
化学的安定性	通常の取扱いで安定。試薬としての安定性は添付文書をお読みください。
危険有害反応可能性	アジ化ナトリウムは鉛・銅などの金属と反応して爆発性の化合物を生成する危険性があります。
避けるべき条件	金属、鉛、銅との長時間の接触
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	情報なし

11. 有害性情報	
急性毒性	アジ化ナトリウム純物質として：ラット経口 LD ₅₀ 27 mg/kg。 混合物としては区分に該当しない。
経口	
経皮	
吸入	
皮膚腐食性／刺激性	
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	
呼吸器感作性又は皮膚感作性	
生殖細胞変異原性	
発がん性	
生殖毒性	
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	
誤えん有害性	

その他の情報	情報なし
12. 環境影響情報	
生態毒性	
水生環境有害性、短期(急性)	区分に該当しない
水生環境有害性、長期(慢性)	区分に該当しない
残留性・分解性	区分に該当しない
生態蓄積性	区分に該当しない
土壌中の移動性	区分に該当しない
オゾン層への有害性	情報なし
その他の有害性	情報なし
13. 廃棄上の注意	
化学品（残余廃棄物）当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	
残余廃棄物	水質汚濁防止法等の規制及び各都道府県の条例等に留意して処理してください。
付着している汚染容器及び包装	行政の許可を受けた廃棄物処理業者に委託するか、廃棄物処理法に従って適切に処理してください。
[HISCL SP-A R1 試薬、HISCL SP-A R2 試薬、HISCL SP-A R3 試薬]共通	
14. 輸送上の注意	
国際規制	
航空規制情報（ICAO/IATA）	輸送危険物に該当しない
国連番号	非該当
品名（国連輸送名）	非該当
国連分類（危険有害性クラス）	非該当
容器等級	非該当
海上規制情報（IMO）	輸送危険物に該当しない
国連番号	非該当
品名（国連輸送名）	非該当
国連分類（危険有害性クラス）	非該当
容器等級	非該当
海洋汚染物質	非該当
MARPOL73/78 付属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質	非該当
国内規制	
航空規制情報	輸送危険物に該当しない
海上規制情報	輸送危険物に該当しない
陸上規制情報	輸送危険物に該当しない
輸送又は輸送手段に関する特別の安全策	運搬に際しては、転倒落下、損傷を来さず、横倒しないよう積み込み、荷崩れを防止してください。

15. 適用法令	
薬機法 安衛法	該当： 体外診断用医薬品 該当：ドデシル硫酸ナトリウム（労働安全衛生規則別表第2 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物 令和 7 年 4 月 1 日施行、労働安全衛生規則第 594 条の 2 皮膚等障害化学物質等 皮膚刺激性有害物質）
化管法	該当：ドデシル硫酸ナトリウム：第一種指定化学物質
毒劇法	非該当
化審法	該当：ドデシル硫酸ナトリウム：優先評価化学物質
水質汚濁防止法	非該当
航空法	非該当
船舶安全法(危険物船舶運送及び貯蔵規則)	非該当
消防法	非該当
スイス連邦法 揮発性有機化合物の特別税法	非該当
16. その他の情報	
その他の情報	本 SDS は JIS Z7253:2019 に準拠して作成しています。 ここに記載された情報は、シスメックス株式会社の最善の見地に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。本品の適正に関する決定は使用者の責任において行ってください。
略語	ACGIH：アメリカ合衆国産業衛生専門官会議(American Conference of Governmental Industrial Hygienists) TWA：許容濃度(Time-Weighted Average) ICAO：国際民間航空機関(International Civil Aviation Organization) IATA:国際航空運送協会(International Air Transport Association) IMO：国際海事機関(International Maritime Organization) IBC コード：国際バルクケミカルコード(International Code for the Construction and Equipment of Ships Carrying Dangerous Chemicals in Bulk) 薬機法：医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律 安衛法：労働安全衛生法 化管法：化学物質排出把握管理促進法 毒劇法：毒物及び劇物取締法 化審法：化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 NITE：独立行政法人製品評価技術基盤機構(National Institute of Technology and Evaluation) NITE GHS 分類公表データ EU CLP Regulation, AnnexVI
データの主要な文献参照と出典	